

科目名称：	経営学入門	
担当者名：	王 玉	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
本講義は経営学の基礎的知識を習得することを目的とする。受講者の個人的日常生活費から出発して、経営学の初歩的な理論を概観し、基礎的な専門知識を分かりやすく解説する。企業とは何かという基本的な問いから始め、企業の仕組み、そして企業のさまざまな活動について、ケーススタディを含む実際の経営活動を踏まえつつ体系的に学習する。		
授業の達成目標・到達目標		
①経営学の基礎的な専門知識を理解するようになり、今後の就職活動や社会生活と実践に役立てる ②新聞やテレビのビジネスニュースに報道された企業、その活動内容や諸特性などが理解できる ③上記①と②をもとに企業経営にともなう諸問題について議論や意見交換ができる		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	○
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)		90		10	100
ビジネスDP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	会社経営者（社長）	《経験年数1》 9年
	コンサルタント会社社長	《経験年数2》 4年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
経営学によく使われる専門用語と基礎知識を理解する。	講義で説明された基本的な経営知識を完全に理解している	講義で説明された基本的な経営知識を凡そ理解している	講義で説明された基本的な経営知識についてヒントを与えれば理解できる	講義で説明された基本的な経営知識についてヒントを与えても理解できない
経営学的視点から企業の活動内容や諸特性が理解できる。	企業の経営活動や諸特性について理解でき議論や意見交換ができる	企業の経営活動や諸特性について凡そ理解でき議論や意見交換ができる	企業の経営活動や諸特性について理解できる	企業の経営活動や諸特性について説明を受けてもその内容を理解できない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 経営ってどういうこと? 一人、モノ、金、情報	自分の日常生活費の使い方についてアンケートして分析・解釈を行う。	40分
第2回 株式会社ってそもそもなに? ーその歴史と種類	東インド会社から現代企業形態までの軌跡	40分
第3回 経営理念と事業ってどうやって決めるの? ー専門化と多角化	経営者の着眼するところを例で見る	40分
第4回 自社と他社の競争に勝つにはどんな戦略を取るの? ー競争優位	競合他社と差別化を図る	40分
第5回 小テスト1	過去4回の講義を復習してくる	40分
第6回 マーケティングってなに? ー顧客創造・イノベーション(ディスカッション)	リサーチと市場分析	40分
第7回 ビジネスモデルってなに? ー代表的モデル、ケーススタディ:東京ディズニーランド	ビジネスモデルについて下調べをしてくる	40分
第8回 生産管理ってどういうこと? ー見込み生産・受注生産	トヨタのカンバン方式について下調べをしてくる	40分
第9回 生産効率をもっと上げる方法はないの? ーサプライチェーン	SCM、OEM、EMSについて下調べをしてくる	40分
第10回 小テスト2	過去4回の講義を復習してくる	40分
第11回 大量に作れば安売りできるのはどうして? ー規模の経済	規模の経済について下調べをしてくる	40分
第12回 組織はどういう基準で作られる? ー職能別組織・事業部制組織	企業の組織図について下調べをしてくる	40分
第13回 日本人が考えて世界に普及した理論って? ー暗黙知・形式知・SECIモデル	経営理論について下調べをしてくる	40分
第14回 財務諸表ってなに? ー自分の金管理と貸借対照表	自分の金管理と会社の財務管理についてレポートにまとめること	40分
第15回 小テスト3及びまとめ	過去4回の講義を復習してくる	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
30%の小テストを3回実施、残りの10%は各学生の講義への関与度合いで採点する。

課題に対してのフィードバック

小テストに関しては、テスト後に記載すべきだった重要なポイントを解説し、加えて模範解答を示して対応する。

教科書・参考書

『(大学4年間の)経営学見るだけノート』 平野敦士カール、宝島社、2021年
該当ページを解説する。